

# 国語科授業ナビシート

小学校 第4学年 組( )名 授業者

単元名「小さな新聞記者誕生！B小学校のみりよくを伝える新聞を作ろう」 第10時／全12時

○本時で育成を目指す資質・能力 (いずれかに○をつける)  
( )知識及び技能 ( )思考力・判断力・表現力等

(○)学びに向かう力、人間性等

○本時における「読み解く力」の視点

記事の内容を基にして、読者が読みたくなる記事の見出しを考えている。【A③】  
グループ交流を通して、見出しに用いる言葉を見直し、よりよいものになっている。【B③】

○本時の目標

記事の内容を読み返したり、グループ交流をしたりして、読者が読みたくなる記事の見出しを考  
えることができる。

○本時の評価規準

評価規準

進んで相手や目的を意識して、読者が読みたくなるような記事の見出しを試行錯誤しながら考えようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

評価する具体的な児童の姿

◎記事の内容にふさわしく、読みたくなるような見出しになるように、グループ交流や見出しのポイントを基にして考え、よりよい見出しを目指している。

○グループ交流を通して、読みたくなるような見出しを自分なりに考えようとしている。

△記事の内容に合った見出しを考えるために、グループ交流したことを踏まえようとしていない。

○本時の展開 (めあてや学習課題、学習活動、予想される児童の姿、指導の手立て、★評価を行う場面 等)

①学習のゴールを確認し、振り返りを基に学習活動  
に見通しをもつ。

めあて  
読者が読みたくなる記事の見出しを考えよう。

②記事の例を読み、見出しの効果について考える。  
・見出しが異なる二つの記事を比べることで、伝えたいことが明確に伝わる見出しになっているか確認し、見出しのポイントをまとめる。

見出しのポイント

短い言葉で書く。  
問いかけや呼びかけの言葉を取り入れる。  
注目してほしい言葉には「」をつける。  
自分が伝えたいことと、見出しが合っているか確認する。  
自分の思いを込めた見出しにする。

③新聞記事にふさわしく、記事を読みたくなるよう  
な見出しになるように考え、交流する。

【A③B③】★(交流の様子・ワークシート)

◎予想される児童の姿とそれに対する指導の手立て  
見出しの言葉がなかなか見つからない児童

・下書きを読んで、伝えたい内容を確認めたり、グ  
ループ内でヒントをもらったりするように促す。

下書きの文章から抜き出している児童

・見出しのポイントに沿って、自分が考えた見出し  
を見直すよう促す。

下書きや見出しのポイントを基に、内容にふさわし  
い見出しを考えている児童

・理由とともに見出しを紹介し、もっとよい見出し  
はないか意見を求めるよう促す。

④学習を振り返る。

・本時の学習内容だけでなく、次時への意欲がもてる  
ように、次の時間に取り組みたいことについても  
考えるよう促す。

・数人の振り返りを紹介し、学習を振り返るとともに  
次時への意欲を付けられるようにする。

〈想定する○評価の振り返り〉

見出しのポイントを使って言葉を考えると、読み  
たくなるような記事の見出しになることが分かり  
ました。

友達の意見を聞いて、見出しを短くして、読みやす  
くしました。

友達の意見を参考にして、いい見出しを考えるこ  
とができたと思います。